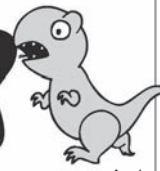


第17号

7月20日(木)

広報委員長 木下 豊
 広報委員 安財喜久男
 塩尻 利一
 内山 英行
 吉田 健二
 奥田 亮

小布施 まちづくりボイス



E-mail: kouryuu@town.obuse.nagano.jp HP: http://www.town.obuse.nagano.jp/

発行 小布施まちづくり委員会
 会長 木下 豊
 事務局 小布施町役場
 企画政策課 定住交流係
 Tel.026-214-9102
 編集 小布施まちづくり委員会
 広報委員会
 2008(平成20)年12月18日創刊
 2017(平成29)年7月20日第17号
 ©小布施まちづくり委員会

環境を考える部会

部会長 工藤陽輔

イベント報告

「菌ちゃん先生の元気野菜革命」

環境を考える部会で、
 は、これまで生ごみ減量
 化と堆肥作りの普及活動
 を行ってきました。

今年4月21、22日、
 長崎県佐世保市よりのNP
 O法人 大地といのちの
 会理事 長 吉田俊道先生

をお招きし、食育講座北
 斎ホール)、土作りワー
 クショップ(栗ガ丘小学
 校4年生、小布施町6
 次産業センターへろくさ
 ん)を実施しました。

土作りワークショップ
 では、これまでの活動の

積み重ねもあり、多くの
 方に参加していただき、
 生ごみはもろろん、雑草
 を用いた新たな手法の紹
 介も受けました。

子どもたちとも楽しく
 でき、実際に土に触れ菌
 ちゃんを体で感じてくれ



【食育講座】食改善による元気からだづくり (北斎ホール)



【講演&ワークショップ】生ゴミ・雑草リサイクル 土づくりによる元気野菜づくり (6次産業センター)

講演+意見交換+交流～先輩のみなさんをお迎えて～



第2回講師
 小山洋史さん
 有限会社穀平味噌醸造場・
 小布施まちづくり委員会
 初代会長

平成29年 9月1日(金) 18時30分～(受付17時30分)

小布施町公民館講堂(町役場3階)

参加無料(予約不要) 交流会参加=2,000円(要予約)

小布施のまちづくりをリードしてこられた先輩のお話をうかがい、
 「これから」を考え、語り合う文化サロンです。
 第2弾はまちづくり委員会初代会長、小山洋史さんの登場です。
 発足当初の原点を振り返ることによって、
 これからの10年の進路が具体的に現れてくるでしょう。

【お問合せご予約】
 小布施まちづくり委員会事務局 (小布施町役場企画政策課内)
 Tel: 026-214-9102 Fax: 026-247-3113
 E-mail: kouryuu@town.obuse.nagano.jp

今後の展望

10年前より一歩ずつ積

て貴重な体験になったと
 思います。
 その後、菌ちゃんたっ
 ぷりのふかふかの土がで
 き、小学校では小布施丸
 ナスを定植し現在順調に
 生育しています。ろくさ
 んの菌ちゃん農園では先
 日ニンジンの種を蒔きま
 した。秋には収穫祭を計
 画しております。
 食育講座では、内容は
 とても充実しております
 したが、多くの皆さんに参
 加いただくといいことがで
 きず、食育に対する意識
 向上が今後の課題である
 ことがわかりました。

み重ねてきた生ごみ減量
 化・堆肥作りは少しずつ
 浸透してきていると思
 います。最近の活動では、
 ①環境、②農業、③食育
 まで発展し、部員一人一
 人の意識が高まってきて
 います。これからは、こ
 の3本柱を中心にしつ
 つ、菌ちゃん農法を広め、
 皆様が幸せで楽しく小布
 施で過ごせるような環境
 を作っていかれたらと思
 っております。
 今後とも、よろしくお
 願いたします。

手作り防災グッズの試作

昨年から安全部会では防災グッズ、とりわけ作りが可能な範囲を探り合いながら、利用度をディスカッションしていくと進め、いくつかの試作品を作りました。

全国では災害ののちに伝わる避難生活がテレビ

などで報道され、備えるべき手作り防災グッズを紹介するWEBページや参考書を活用しながら下の写真のようなグッズを作りました。

また、牛乳パックのスリッパは世の中には初めての登場ですが、部会の

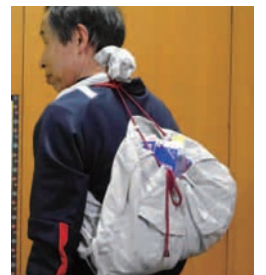


タオルで寒さ対策

皆さんの検討から生まれた開発であり、今後のグッズの展開に参考となります。今年の六斎市で出品予定です。



牛乳パックをスリッパに



古ズボンでリュックサック

認知症人形劇の開催

福祉を考える部会



健康福祉センターにて開催

本年1月21日に開催いたしました認知症の人形劇には、大雪で足元の大変悪い中にも関わらず多くの方々にご参加いただき、大盛況のもと終了する事が出来ました。ご参加いただきました皆様には、この場をお借りし御礼申し上げます。

住民の皆様には認知症を理解していただき、地

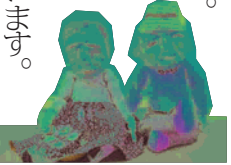
域住民が皆で協力し対象者を見守っていただけるなまちづくりができればと考えております。今後とも継続した活動ができればと考えておりますので、多くの住民の皆様に興味を持っていただき認知症をご理解いただければと思います。

また皆様にご協力いただきましたましたアンケート結果につきましては、6月の部会にて全項目の内容の確認作業が終了致しま

したので、近々に集計結果をお知らせする事が出来ると思います。今しばらくお待ちください。

福祉部会では高齢者等の介護問題に限らず、障がい者やお子様にも焦点を当てた、福祉全般に関する内容をテーマにしていきたいと考えています。

ご興味のある方のお参加をお待ちしています。



まちづくり委員会 設立の経緯

小山 洋史

小布施まちづくり委員会 初代会長

まちづくり委員会も早いもので、もう10年になるうとしています。

ここでもう一度原点に返ろうということで、当時に議論されたことを改めて振り返ってみたいと思います。

以下に掲載したのは、平成20年の発足当時、仮称「町民会議」後の「小布施まちづくり委員会」の必要性を考えたQ&Aです。今後の参考になればと思います。思い再掲載をさせていただきます。(一部修正)

Q1 町民会議はどうして必要ですか？

A 画に最初の段階から参画し、行政とともに創り上げていくこととする、意欲ある町民グループのことです。

Q2 町民会議は、どうして必要ですか？

A 今まででは行政が少なかった施策を町民の代表である議員がチェックをし、実行されていきました。ところが現在、行政や議会の情報が町民にうまく伝わらない、町民の声が届きにくいという声が聞かれるようになってきました。それとともに町民の中にも単に「あれをして欲しい」という「要求型の行政参加」から「あれをするにはこうしたらどうだろう」という「行政計画への積極的参加」という意識が生まれてきました。そのような町民

Q1 町民会議というのは何ですか？

A 町民の日々の暮らしの中で生じる諸問題(ゴミ問題や教育問題)また町民が必要とする施設、医療・福祉等を町民が希望するように実現していくために、その計

共育を考える部会

子どもも親も育つために

口頭詩って皆さんご存知ですか？ 口頭詩は子どもがつぶやきやおしゃべりを、そばに居る大人が書きとめたもの。

すでに町内の保育園や子ども園、公民館等に応募箱と応募用紙が用意されています。

例えば、ガソリンスタンドで給油しているときに3歳の子の言葉「車がゴクゴクって飲んでるのかい？」(サイロ5月号)

町報おぶせ7月号からスペースをお借りして応募された口頭詩の掲載が始まります。子どものつぶやきって本当に楽しい



エンゼルランドセンターに置かれた「口頭詩おうぼ箱」

くて心が和みますよね。皆さんの応募をお待ちしています(将来的には

「大人の口頭詩」「おじいちゃんおばあちゃんのお頭詩」など広げていきたいと思っています。

秋には「第6回おぶせ未来共育会議」を引き続き開催予定です。講師や内容はこれから検討していきますが、多くの町民、地域の皆様と「共育」について考えていく機会としたいと思えます。こちらでも参加をよろしくお願ひします。

部会長 元田和行

定住促進を考える部会

空き家対策は防災・防犯

当部会では移住希望者のための空き家バンクの整備を進めています。現在のところ皆さんからの情報が少ないことと、個人情報保護の観点から進展していないのが実情です。

発生する問題を解決することにも役立ちます。管理されていない空き家を考えますと、枯れた草木で埋もれた庭に、タバコの吸いかけでも投げ込まれたらどうなるでしょうか。何者かがアジトとして出入りすることも起こり得ますし、また野生

動物や病害虫の住処となり、近隣に迷惑を及ぼすことも考えられます。そこで推進したいのが、防災・防犯のための「空き家マップ」の整備です。現在ある防災マップに合せて各自自治会が把握し、見守り・管理をしてはいかがでしょうか。町に検討いただくよう提案の準備をしています。空き家バンクはこの中から

部会長 櫻井敏夫

抽出できるでしょう。

何故か当部会員のほとんどが、1ターンで定着した者が町外者で構成されています。小布施で育ち培ってきた文化・気質を、どこまで反映できるか心配しています。

いくつかテーマを持っていきますが、ご参加いただき皆さんのご意見をお聞かせくださればと願ひしております。

あなたも「まちづくり委員会」に参加しませんか!

様々な立場の人が自由に意見を交わし、住みよいまちづくりを考え実践する場として、平成20年にスタートしました。「安全」「環境」「福祉」「交流」「共育」「定住促進」の6つのテーマごとに部会を設け、月に1回くらいのペースで集まって活動しています。

そんなまちづくり委員会にあなたも参加してみませんか。参加をご希望の方は、下記事務局へお申し込みください。

小布施まちづくり委員会事務局

Tel:026-214-9102 Fax:026-247-3113 E-mail:kouryuu@town.obuse.nagano.jp

の問題意識、解決の要求を具体化するためのしくみが必要になってきたのです。それはまた行政にとっても計画策定に町民の声を直接反映しやすいという長所・利点があります。

Q: 議会があるのにどうして第二議会のようなものをつくらうとするのですか?

A: 議会の重要な役割は、議決権と行政へのチェック機能ということ。行政が本常に町民のための計画を公平につくり実行するか、ということを常に目を光らせて

いなければなりません。議会は来年度(当時)には14名に削減されます。ということは単純に7名の議員の賛成によって町の重要な議案が決定されます。議員には今までの以上の能力と責任が求められてきます。

一方、町民会議は時々行政課題などを検討し、行政へ提案したり自ら実践します。決して行政や議会と対立するものではなく、相互補完機能をもつものにしていかなければなりません。

(つづく)

交流で住みよい・楽しい 小布施町

まちづくり委員会も10年の節目を迎え、ふりかえってみると、それぞれの部会が議論したことを町に提言し、それなりの成果がありました。

これからはもちろんこの流れは継続されていくべきだと思いますが、いちばん必要なのは委員だけではなく、住民全体が自分たちの生活の基盤である町の現状を知り、不便なところがあれば地域

で話し合い、できることはまず自分たちの手で改善していく、ということが必要です。そのために

はまちづくり委員会がやっていることを情報として皆さんにお届けする必要があります。今後どう進むべきかわれていますが、多くの住民が自分のこととして

興味を持てるような仕掛けが必要だと感じています。



昨年のビアイベント

今後の交流部会の予定ですが、8月4日(金)はビア・イベント(忘れない3・11)、8月9日(水)夏休み中の子ども向けプログラム(スイカ割とお絵描き体験)、12月には餅つき大会、2月には多文化交流会として小布施や近隣在住の外国人の方たちとの交流を計画しています。皆様のご参加お待ちします。

Bier Abend 2017
第7回 ビア イベント

忘れない, 3.11!

梅雨明け後の真夏日。ドイツ直輸入の冷えた生ビールをどうぞ一飲しませんか?
ドイツビール提供: 西園シネマ一樓

小布施町住民として、被災地の方々のご苦勞を慰むに努め、決して忘れることなく、復興への長い道のりを共に歩みたい。こんな趣意で、「ビア・イベント」を「まちづくり委員会」が開催します。

日時: 2017年8月4日(金)
午後 6:00-8:00

場所: おぶせミュージアム
中島千波館 中庭

参加費: 2,000円(当日の場合: 2,500円)
(ドイツビール飲み放題、フランクフルター、ザウクラフト込み)

ただし、ビールは売り切れ御免!

当日の参加費の中から2割は日本赤十字社の義援金にまわります。
(お土産・関係費、含まれます)

主催: 小布施まちづくり委員会
協賛: 小布施いいだん会、ツルヤ小布施店・きーけん せってみね会
参加ご希望の方は7月28日(金)までに小布施まちづくり委員会事務局へご連絡ください。
TEL: 026-214-9162 FAX: 026-247-3113 E-mail: kousya@town.obuse.nagano.jp

広報委員会活動報告

- 1/21 認知症の人形劇 撮影
- 3/10 町議員との交流会・懇親会撮影
- 4/21 環境部会イベント撮影
- 5/29 ボイスの年間発行計画
ボイス 17号編集計画
- 6/29 ボイス 17号レイアウト検討会
- 7/3 口頭詩投函写真撮影
- 7/7 ボイス 17号編集終了

f 小布施まちづくり委員会 facebook の「いいね」が 110 件を越えました!



TOPICS
第2回議会交流会
3月10日(金)
於 公民館講堂

編集後記

今年の梅雨も雨不足から大雨、やっと水不足解消。ビアイベントへ。
(安財)

この頃、全国各地に地震が起きています。小布施町の町民も関心があるのではないかと思います。防災訓練に参加してほしいと思います。
(塩尻)

十年目という大きな節目を迎える今年、集大成に向け気合がこもります。
(内山)

新しい編集委員の参加はうれしい。今年は三回、10周年記念ボイスをお届けします。
(吉田)

今号よりレイアウトをお手伝いすることになりました。よろしくお願いたします。
(奥田)